

平成30年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 伏虎義務教育 学校
校長氏名	林 素秀
作成日	平成31年2月18日

1 教育目標

心豊かで、自ら学び、夢と希望を持ってたくましく生きる人間の育成

2 本年度の取組についての評価

	進んで学び、しっかり考える子供	心豊かで、思いやりのある 優しい子供	健やかに、たくましく生きる 元気な子供	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の勉強がわかる。 (前期児童90%) 授業は楽しく分かりやすい。 (後期生徒90%) ・読書が好き (前期児童・後期生徒75%) ・話し合いを通じて考えを深め広げる。 (前期児童・後期生徒65%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しい。 (前期児童・後期生徒95%) ・私はそうじを一生懸命している。 (前期低学年児童95%) みんなそうじを一生懸命している。 (前期高児童・後期生徒85%) ・誰にでもあいさつができる。 (前期児童90%) みんな気持ち良いあいさつをしている。 (後期生徒85%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、子供の安全確保・健康管理のための取組を行っている。 (前期・後期保護者90%) ・学校は、将来の進路や職業について適切に指導している。 (後期保護者90%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、子供の活動の様子を、保護者に分かりやすく伝えている。 (前期・後期保護80%)
重点目標 【P】	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力の向上 ・言語活動(ことばの力)の充実 ・「わかやま創造科」の創設 ・外国語教育の充実 ・理数教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動の充実 ・道徳教育・人権同和教育の充実 ・自主的・実践的活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の充実 ・健康安全教育の推進 ・キャリア教育・進路指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭・地域との連携充実 ・地域資源の活用推進 ・地域行事やボランティア活動への参加
取組の状況 【D】	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上に向け、全教員が、「わかやま創造科」「外国語教育」「理数教育」のいずれかの部会に所属し、授業研究を行った。11月21日には研究発表会を開催した。 ・読書の楽しさを伝えてくれる読み聞かせボランティアに来校いただいた。図書室に読書紹介の場を設け、本に対する興味関心を高めた。 ・1年生から、外国語に親しむ時間を設定した。ALTの授業だけでなく、イングリッシュティーなどの取り組みも積極的に行なった。 ・算数科において、6年生のTT指導、数学科において、8年生の少人数指導を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠足や校外学習において、自然や文化、地域の伝統に触れる体験活動を行った。 ・入学式、写生会、スポーツテスト、運動会等では、学年の枠を超え交流が行われた。 ・いじめなくそうで一の取り組みを充実させた。人権をテーマに土曜参観授業を行い、人権意識の向上を図った。 ・全校一斉の朝掃除を行った。 ・5年生以上の全児童生徒が参加する委員会活動を行った ・部活動については、5・6年生を対象に体験活動できるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援や配慮の必要な子供について、教職員間の情報共有を進めるための基礎資料を作成した。 ・保健室だよりの発行、保健委員会活動を通じて、健康についての意識向上に取り組んだ。 ・「食」に関わる掲示や通信、ランチルームで異学年の交流給食を行った。 ・「わかやまキャリアガイダンス」(8年)を開催し、地域の様々な職業人からお話を伺った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伏虎通信を毎月地域に配布させていただいた。HPを通じて学校の情報を発信した。 ・社会科や生活科、わかやま創造科において、多くの地域の方々の協力を得ることができた。 ・旧3小学校の各地域で行われていた行事の統合が進んだ。
取組の結果と課題 【C】	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査において、6年生は、各問題とも8～11ポイント全国の平均正答率を上回った。9年生においても1～7ポイント上回った。 ・毎日の勉強がわかる。(前期児童95%)、授業は楽しく分かりやすい。(後期生徒85%)であり、引き続き授業改善を進める。 ・話し合いを通じて考えを深め広げる。(前期児童83%・後期生徒81%)となり、昨年より向上したが、話し合いの内容の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しい。(前期児童96%・後期生徒90%)であったが、楽しくないと答えた児童生徒の様子を丁寧に把握する必要がある。 ・私はそうじを一生懸命している。(前期低学年児童93%) みんなそうじを一生懸命している。(前期高児童90%・後期生徒77%)であった。 ・誰にでもあいさつができる。(前期低児童94%前期高児童85%) みんな気持ち良いあいさつをしている。(後期生徒69%)であった。掃除や挨拶の意義を理解し、主体的に取り組む姿勢を養う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、子供の安全確保・健康管理のための取組を行っている。(前期保護者84%・後期保護者90%)であり、地震や火災時の避難訓練だけににとどまらない安全・防災教育を考える必要がある。 ・学校は、将来の進路や職業について適切に指導している。(後期保護者73%)昨年より低下した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、子供の活動の様子を、保護者に分かりやすく伝えている。(前期保護者84%・後期保護者76%)であった。 ・HPの更新を定期的に行うことができなかった。 ・校区の商店や地域人材の協力を得ることで、わかやま創造科をはじめ教科学習の充実を図ることができた。 ・児童生徒が地域行事に参加できる場が増えた。 ・図書室の蔵書整理に、ボランティアの協力を得ることができた。
改善方法 【A】	<ul style="list-style-type: none"> ・「わかやま創造科」を中心に教職員全体の授業研究を推進し、児童生徒が探究的に学ぶ力を育成する。 ・学校図書館の整備を進め、図書館を核にした読書活動計画を策定し、学校全体で読書活動を推進する。 ・協働的に学ぶ力を高めるためにペア学習やグループ学習をさらに取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・9年間を見通した体験活動ができるように、特別活動の年間計画を見直す。 ・清掃活動について考える学級会や集会を行い、主体的に清掃に取り組む姿勢を高める。 ・特別な教科「道徳」の充実に学校全体で取り組み、豊かな心を持つ子供を育成する。 ・児童生徒会を中心に、あいさつ運動にさらに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SCや関係機関と連携したケース会議を定期的開催し、指導方針の共有、個別支援の充実に努める。 ・不審者対応の訓練を取り入れる。 ・給食を通じて、食育に対する意識をさらに高める。 ・キャリア教育の取り組みを、学年便りやHPを通じて情報発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の情報がより広く伝わるように、HPの充実に努める。 ・コミュニティースクールと連携し、地域人材の活用を進める。

3 その他の課題

・スポーツテストの結果を共有し、子供たちの体力向上に努める。